



うばやま

No.6

令和7年6月13日
校長 蜂須賀 久幸

<https://kashiwai-school.ed.jp/ichikawa-sho>

ワクワクするような探求型の学びを求めて

まもなくプール開きがあり、水泳の季節到来です。しかし、近年は熱中症警戒アラートが度々発令されて、天気はよいのにプールに入れないということが多くなりました。ただ、命が最優先ですから、心を鬼にして「中止」の判断をしているのが実情です。でもそんな暑い日に、冷蔵庫にお目当てのアイスを見つけた時の幸せな気分は、言葉では表せません。



さて6月に入ったある日、6年生の男児から『ガリガリ君』を知っている?と話しかけられました。彼は、マスカット味が好きだそうです。この氷菓に“リッチ革新のチョコミント味”が5月に登場しました。今回は、チョコミントと相性のよい和素材「山椒エキス」を加えているとのこと。

『ガリガリ君』と言えば、子どもたちをターゲットとしたワクワクさせる工夫いっぱいの商品を生み出してきました。定番のソーダ味やコーラ味のほか、ナポリタン味、コーンポタージュ味、メロンパン味、シチュー味なんてものもあったようです。“リッチコーンポタージュ味”は、当時入社4年目の26才若手社員が一人で開発し、試作やライン化については2年先輩の社員が協力する形で誕生したといえます。このほか居酒屋メニューに、『ガリガリ君』丸ごと1本を入れた酎ハイが登場したこともあるくらい人気の商品です。

とにかくアイディアがいっぱい!企業の基底にある文化・風土を探ってみますと、『あそびましょ』というのがコーポレート・スローガンで、「強小カンパニー」をめざし、「異端の精神」を大切にすることといった遊び心が、強さあるいは長く愛されてずっと続く秘訣のように思います。

子どもたちの学びにも共通する点があるような気がします。やらされる学びと自分から追求(追究)する学び、どちらがワクワクするでしょう。勉強するのは親が喜ぶからではありません。つまり、自分で楽しんで学ぶ工夫をしていくことが大事。そして、そのためのヒントを与えたり、種を蒔いたり、耕したりするのが大人の役割です。そんな積み重ねにより、ワクワク君が増えることを願います。

さらに、学びは学校だけで完結するものではありません。宿題とは別に、「家庭学習」に取り組む子をたくさん生むような授業を目指します。ところであなたは、『ガリガリ君』の何味がお好みですか?

今日6月13日は開校記念日

昭和54年4月開校当時、児童数571名の15学級、職員22名という構成でした。翌年3月に「6月13日開校記念日承認」の文字が資料に見られ、翌55年度には休業日となって、みんなで祝ったことがうかがわれます。でも、どうしてこの日なのかは、未だに判明していません。

同じ年に開校した学校がほかに、大洲小学校29・幸小学校30・下貝塚中学校9・高谷中学校10・福栄中学校11(数字は、小中学校それぞれの学校番号で、柏井小は28)があります。昭和54年4月3日と4日の両日を3つの時間帯に区切って、計6回の新設校開校式が行われたことも資料からわかります。以下、当時の資料から一部抜粋。

目指す学校像 ➡ ①楽しい学校 ②美しい学校 ③静かな学校

目指す児童像 ➡ ①丈夫な子 ②よくできる子(学力) ③怒ることのできる子(正義) ④素直な子 ⑤よく働く子
⑥きれい好きな子 ⑦心の豊かな子 ⑧しつこく求める子(探究) ⑨独り立ちのできる子
⑩人のことを考える子

46歳になる柏井小ですが、開校当時の想いや願いを受け継ぎながら、年を重ねたからこそ、世の中が豊かになったからこそできることに挑戦する強い意志を持って、みんなで伸びていきたいと考えます。当時の求める教師像にある、「豊かなビジョン」「創造的・個性的な実践」「子供で勝負」を引き継ぎながら…。

第1回 学校運営協議会を開催しました

5月30日(金)に開催された学校運営協議会は、学校と地域の双方で連携・協働を推進するための組織的・継続的な仕組みといえます。目指すべき姿や役割を挙げるとともに、委員を紹介します。



- (1) 「開かれた学校」から地域とともにある学校への転換
- (2) 一部の人々が参画・協力するのではなく、地域全体で学び合い、育ち合う教育体制の構築
- (3) 学校を核としながら、学校と地域がパートナーとして双方向の関係づくり

そして、以下の役割を担います。

- (1) 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- (2) 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる
- (3) 教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べることができる
- (4) 学校関係者評価を行う

※(1)と(4)は必須、(2)(3)は任意となります

◎京極 敬之 様	元柏井公民館長、元校長
○岡本 絢吾 様	地域学校協働活動推進員
金田 敏男 様	防犯パトロール隊
金丸 明果 様	元柏井小学校職員
染谷 誠 様	民生児童委員
土田 広幸 様	青パト隊隊長、元PTA会長
東海林 光 様	現PTA会長
豊田 昌弘 様	元PTA会長
野村 英樹 様	地域学校協働活動推進員
堀切 宏 様	柏井公民館長、元校長
皆川 公雄 様	柏井町4丁目自治会長、柏井奉免連合自治会長
八嶋 真理 様	現PTA副会長

◎委員長 ○副委員長 ほか五十音順



「本が好き」「読み聞かせが好き」「読書が好き」という子が増えていくとともに、知的好奇心の高まりや学力の向上につながることを期待したいと考えています。

柏井小学校でも、毎週木曜日は朝読書や担任による読み聞かせが行われるとともに、ボランティア団体『ティンカーベル』による読み聞かせも今年度9回計画され、昨朝2回目が終わりました。給食中には、不定期で校長の読み聞かせも始めました。

こうした中、文科省では令和五年十月から令和六年四月にかけて、『子供の読書キャンペーン』〜きみに贈りたい一冊〜を実施して、各界で活躍する三十一名のおすすめの本やメッセージを紹介したのです。

千葉県でも、子ども読書推進計画に基づいて、読書県『ちば』を目指しています。

毎年四月二十三日を「子ども読書の日」に定め、言葉を学び、感性を磨き、表現力や想像(創造)力を高め、主体的に生きていくためには、子供の読書活動は欠くことができないものとしています。